

平成24年度教職10年目研修
事後アンケート集計結果

平成26年 3 月

栃木県総合教育センター

1 目的

平成24年度教職10年目研修が終了し一定期間を経過した後に、研修成果を調査・分析することにより、研修内容の充実を図る。

2 対象

平成24年度教職10年目研修（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）の研修教員と勤務校の校長。

- 小学校、中学校 校長 88名、研修教員 94名
- 高等学校、特別支援学校 校長 46名、研修教員 71名

3 実施時期

平成25年6月～10月

4 内容

【集計結果の概要】

【アンケート結果 小学校、中学校】

【アンケート結果 高等学校、特別支援学校】

【資料】

教職10年目研修（小学校、中学校）事後アンケート 様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（小学校、中学校）事後アンケート 様式Ⅱ（研修教員用）

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート 様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート 様式Ⅱ（研修教員用）

【集計結果の概要】

はじめに

教職10年目研修は、総合教育センター等における研修と校内等における研修に大別されている。前者には、学習指導、児童・生徒指導、学級・HR経営等の研修、社会体験等研修、異校種体験研修、選択研修などがあり、後者には、公開授業や教材研究等を通じた研修、課題研究、児童・生徒指導の実践研修などが含まれる。

平成24年度教職10年目研修の終了後、一定期間を経過した後の研修教員の学校現場における状況を、本アンケートで調査・分析した結果、以下のことが確認できた。

1 研修教員は、研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上した。

学習指導力、児童・生徒指導力、参画・経営力のいずれも、「かなり向上した」あるいは「ある程度向上した」という回答が、校長、研修教員ともに概ね8割を超えている。その他、「以前に比して、校務全般に意欲と自信をもって当たっている様子が見られ、特に児童生徒に対する指導力、授業力の向上ぶりがめざましい」、「中堅教員としての自覚がさらに高まった」、「後輩を育てるという視点がもてるようになった」などの内容の回答が見られる。

2 研修終了時の研修教員についての評価を、その後の指導や研修に活用し、効果があった。

研修終了時の評価をその後の指導や研修に、「十分に活用した」あるいは「ある程度活用した」と回答した割合は概ね9割である。

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対しても効果や影響があった。

教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響が、「かなりあった」あるいは「ある程度あった」という回答が、8割以上であった。

小・中、高・特ともに効果や影響があったとした内容は、「公開授業や授業研究会等を通して多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた」、「研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自主研修の意識が高まった」などの回答が多く見られる。小・中では、「教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された」との回答が最も多かった。

4 研修教員は、教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに研修終了後も自主研修に取り組んでいる。

研修終了後も自主研修に「積極的に取り組んでいる」あるいは「ある程度取り組んでいる」という回答（研修教員）が8割を超えている。自主研修の分野としては学習指導が最も多く、「教材研究に力を入れ、生徒にとって分かりやすい授業の工夫や、児童生徒が主体的に学習に取り組み、達成感をもつことができるような授業の工夫を行っている」、「児童生徒による授業評価を適宜取り入れ、分かる授業を実践するための手立てとして活用している」、「課題研究で取り組んだことを継続して行っている」、「外部講師の助言を受けたり、教員同士で話し合いをもって指導計画を立てている」などの回答が見られる。

5 校内等における研修において、有効だった研修は、「公開授業と授業研究会」「教科（学習）指導に関する研修」であった。

有効だった研修として回答数が最も多かったのは「公開授業と授業研究会」「教科（学習）指

導に関する研修」である。次いで多かったのは、小・中は校長、研修教員ともに「児童・生徒指導に関する研修」であり、高・特は、校長は「教育相談に関する研修」、研修教員は「課題研究」である。

校長が特に工夫した点としては、「授業研究会の方法に工夫を加えた結果、活発な意見交換が行われるようになった」、「いじめや体罰など喫緊の課題を校内研修に取り入れた」、「本校児童の実情に合わせてどう改善するかという視点で取り組むことにより、より実のある研修になった」などの回答が見られる。

6 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立っている。

総合教育センター等における研修に関して、「かなり役立っている」あるいは「ある程度役立っている」という回答（研修教員）が概ね9割に達している。項目別にみると、学習指導に関する研修の項目と異校種体験研修の項目で「かなり役立っている」とする回答の割合が高い。

おわりに

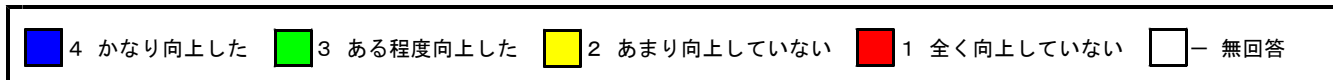
アンケートから、多くの研修教員が本研修の成果を指導力向上に結びつけているとともに、研修後も意欲的に自主研修に取り組んでいることがうかがえる。また、本研修が、研修教員だけでなく、それぞれの学校の研修教員以外の教員にもよい効果・影響を与えていると言える。

教職10年目研修（小学校、中学校）事後アンケート集計結果

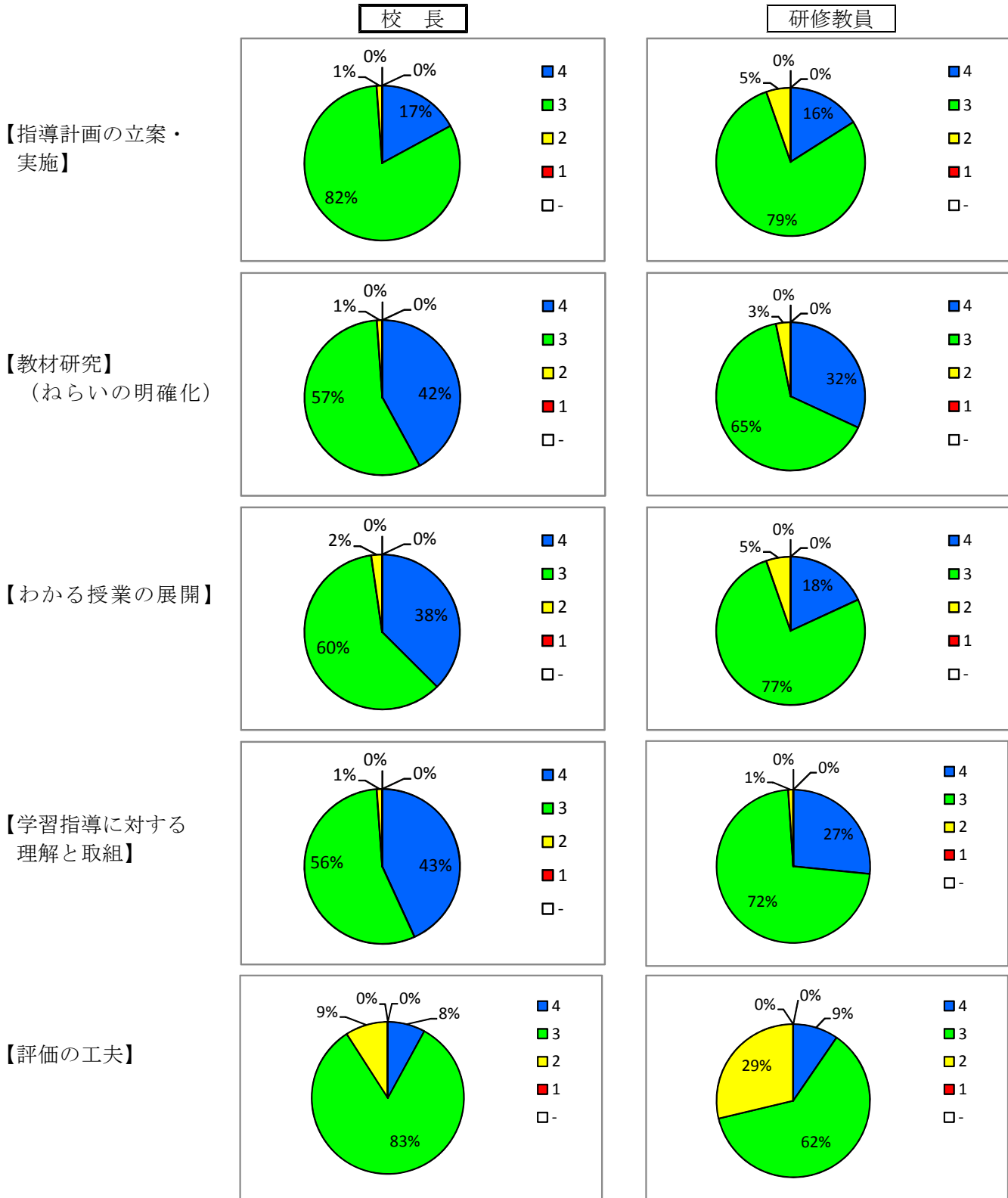
○ 回答総数 校長：88（小学校 43 中学校 45）
 研修教員：94（小学校 46 中学校 48）

1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、当てはまるものを選び番号を○で囲んでください。



ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。



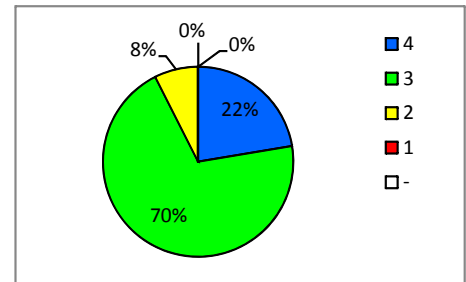
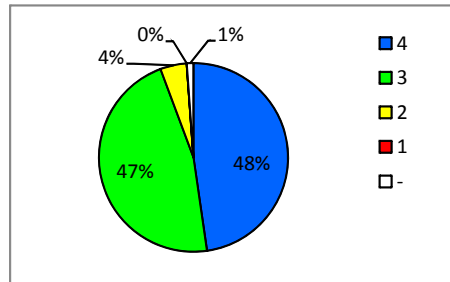
■ 4 かなり向上した
 ■ 3 ある程度向上した
 ■ 2 あまり向上していない
 ■ 1 全く向上していない
 - 無回答

イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。

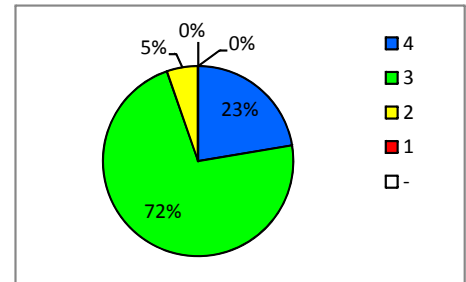
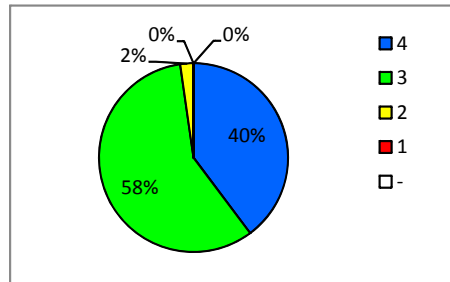
校長

研修教員

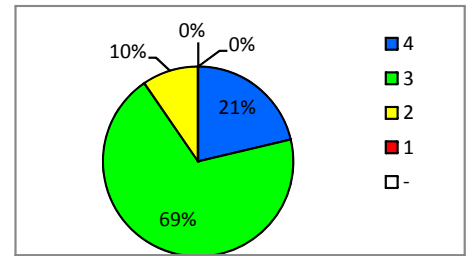
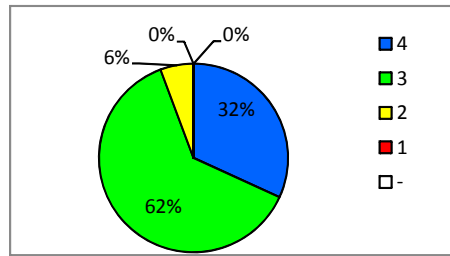
【信頼関係づくり・
教育相談】



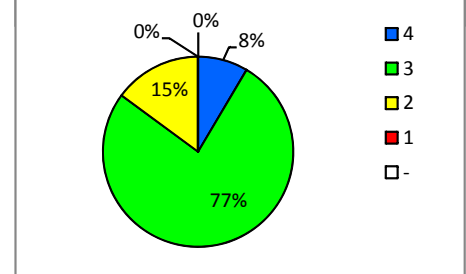
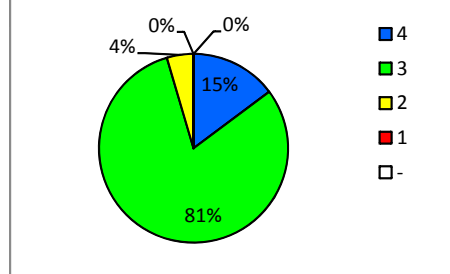
【児童・生徒指導への
取組】



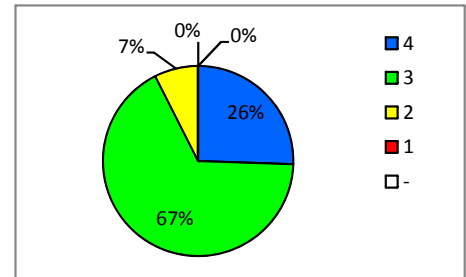
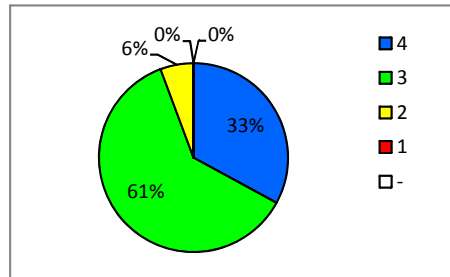
【問題行動等への対応】



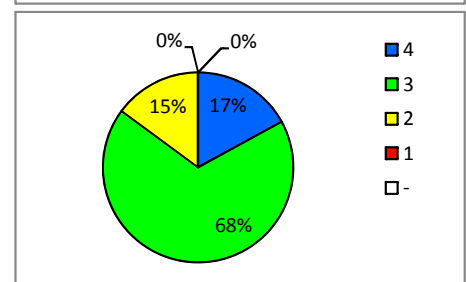
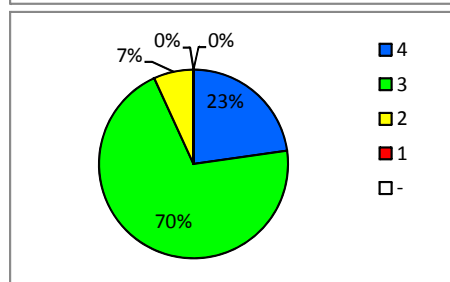
【特別活動、進路指導等
への取組】



【組織的対応】



【家庭・地域・関係諸
機関との連携】
(問題行動の予防・解決)



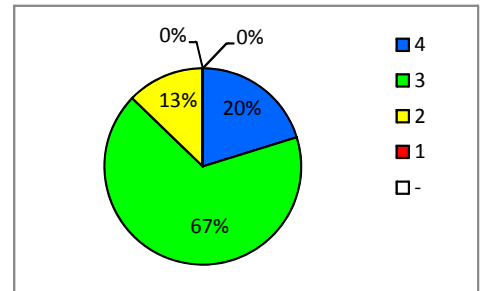
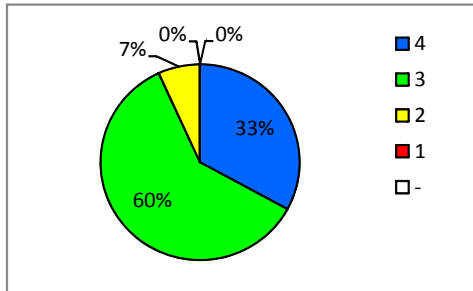
■ 4 かなり向上した
 ■ 3 ある程度向上した
 ■ 2 あまり向上していない
 ■ 1 全く向上していない
 - 無回答

ウ 研修成果を生かし、参画・経営力が向上しましたか。

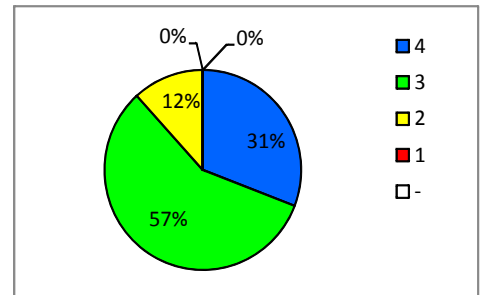
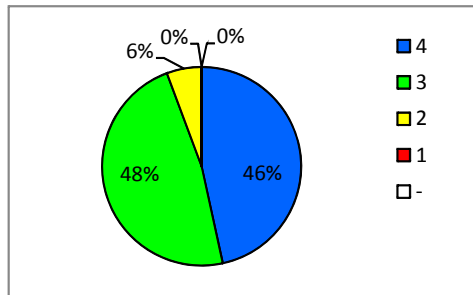
校 長

研修教員

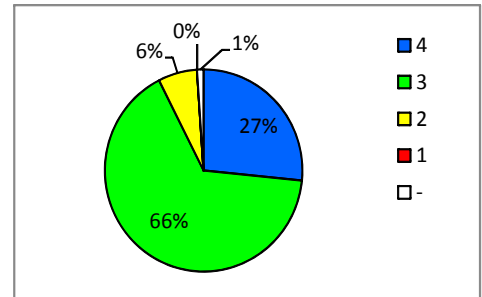
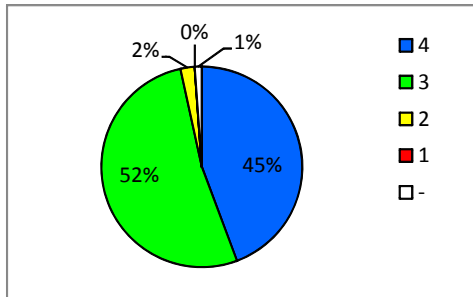
【校務分掌への取組】



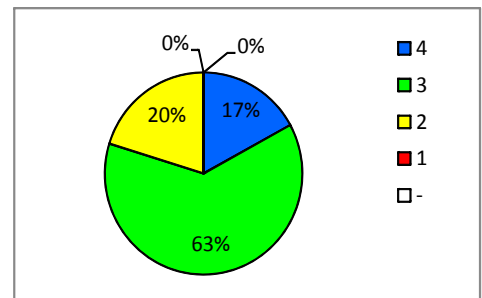
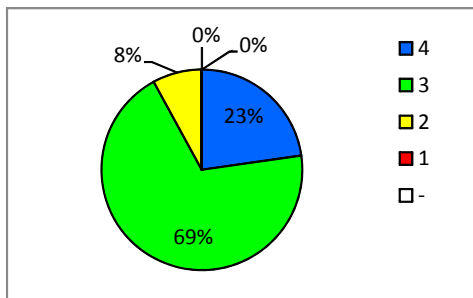
【報告・連絡・相談】



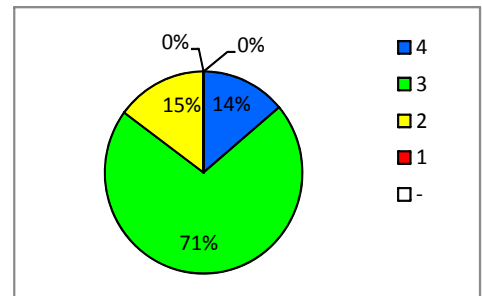
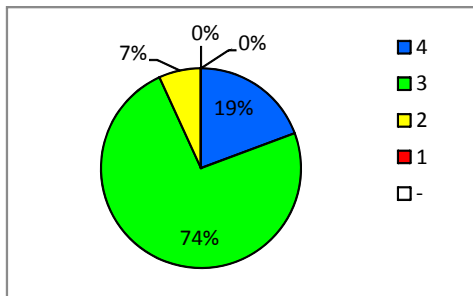
【学級学年経営】



【学校経営への参画】



【家庭・地域・関係諸
機関との連携】
(校務処理)



(2) ア～ウの項目以外のことについて。(主な記述内容)

校長

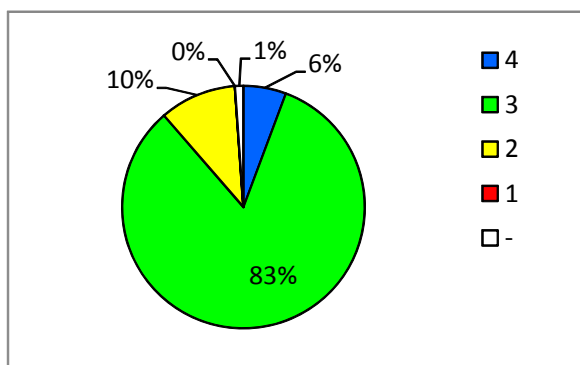
- ・校内では、教育活動の実質的な推進者として活躍している。授業提案や児童生徒の生かし方等、工夫し、他の模範となっている。(研修したことを自分のものになっている。)
- ・全体を通して意欲的に何事にも取り組むようになった。
- ・後輩を育てるという視点が持てるようになった。
- ・校長の学校経営への思いを十分に理解し、学校の教育環境の向上に努力した。
- ・部活動の適切な運営について、保護者との連携に努めた。
- ・指導法の工夫・改善に力を入れ、積極的に授業改善の資料活用を図っている。
- ・県の研究大会、関ブロの研究大会で提案発表を行わせた。10年目の教員として責任ある立場でもあり、校内だけでなく対外的な発表をさせることも本人の資質・能力を高めるために有効であったと考える。

研修教員

- ・研修後も同期の先生から参考資料をいただいたり、教材についての情報交換したりするなどして、学習指導に生かしている。
- ・中堅教員であるという自覚を常にもって行動するようになった。
- ・1年間の研修で自分自身の反省点を見出し、改善に努めることができた。

2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。

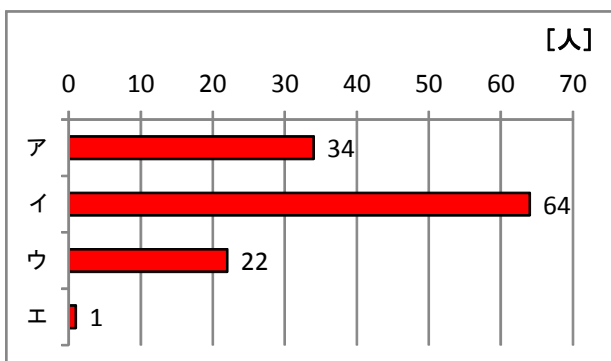
(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。【回答者：**校長**】



- 4 十分に活用した
- 3 ある程度活用した
- 2 あまり活用しなかった
- 1 全く活用しなかった
- 無回答

(2) 活用したことでどんな効果がありましたか。

【回答者：**校長**】 ((1)で4または3を選んだ方のみ回答。)《複数回答》



- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
- イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
- ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- エ その他

○効果を高めるために特に工夫した点【回答者：**校長**】

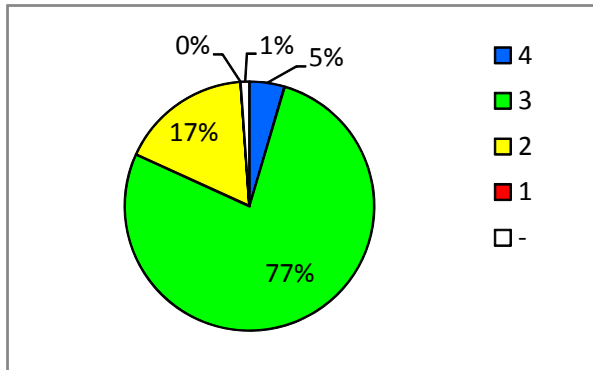
(主な記述内容)

- ・研修教員の校内人事を配慮した(生徒指導主事を任せた)。
- ・教科指導、部活指導、児童・生徒指導等に対して、できるだけ指導を見直す場を作り、PDCAのサイクルを考えさせた。

- ・授業の工夫や児童・生徒指導の方向性を中心に話し合うよう心がけている。
- ・学習指導法や児童生徒理解の在り方等について、学年会などを活用して、学年主任による細かな助言が得られるようにした。

3-1 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

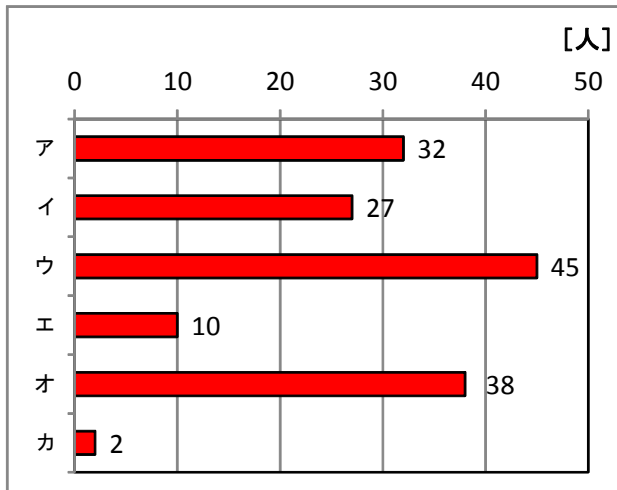
(1) 次の選択肢のうちから当てはまるものの番号を○で囲んでください。【回答者：校長】



- 4 かなりあった
- 3 ある程度あった
- 2 あまりなかった
- 1 全くなかった
- 無回答

(2) どのような効果や影響がありましたか。【回答者：校長】（(1)で4または3を選んだ方のみ回答。）

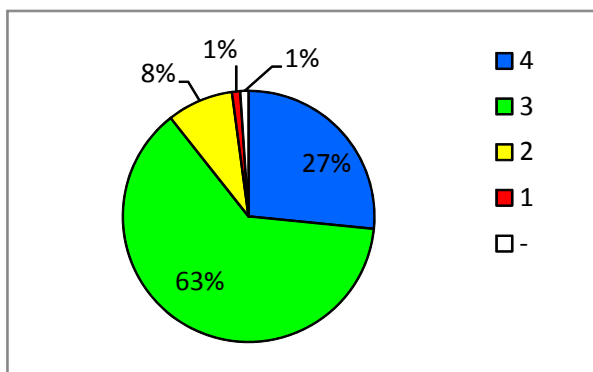
《複数回答》



- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
- イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
- ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
- エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
- オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
- カ その他

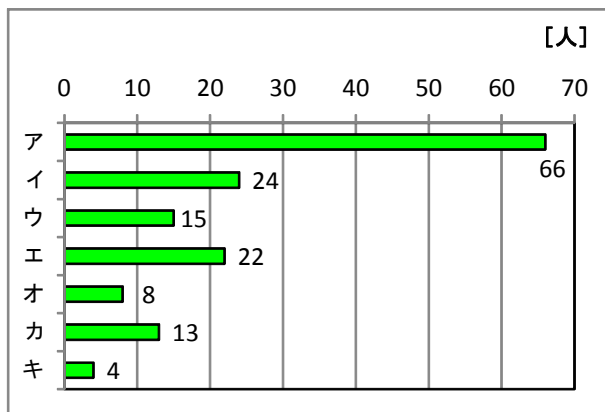
3-2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。

(1) 次の選択肢のうちから当てはまるものの番号を○で囲んでください。【回答者：研修教員】



- 4 積極的に取り組んでいる
- 3 ある程度取り組んでいる
- 2 あまり取り組んでいない
- 1 全く取り組んでいない
- 無回答

(2) どんな研修に取り組んでいますか。【回答者：研修教員】（(1)で4または3を選んだ方のみ回答。）
 《複数回答》



- ア 学習指導
- イ 児童・生徒指導
- ウ 学級経営
- エ 道徳教育
- オ 特別活動
- カ 特別支援教育
- キ その他

○具体的に、どのように進めていますか。【回答者：研修教員】

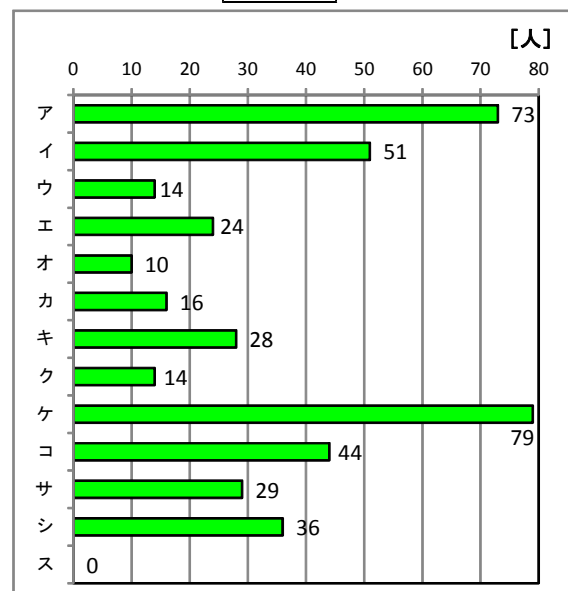
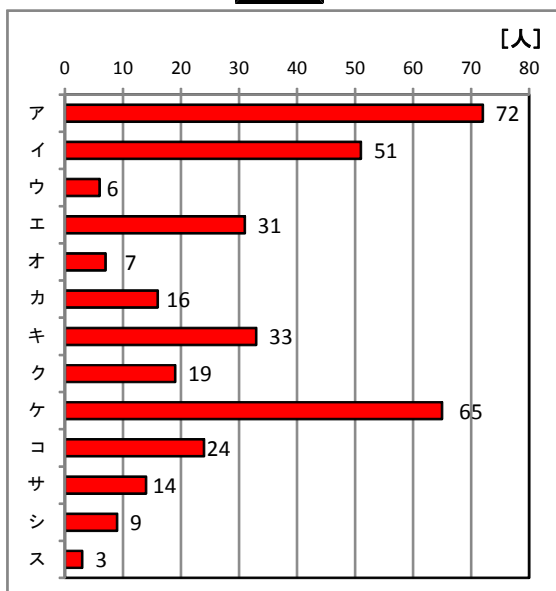
(主な記述内容)

- ・パワーアップ研修や他校への視察等、積極的に参加している。
- ・校内の支援体制の構築を図るため、コーディネーターとしての資質を向上させるため、夏季休業中を利用して積極的に研修に励んだ。
- ・学級経営では、一人一人に寄り添うことができるよう教育相談や保護者との連携を図っている。
- ・学級内での人間関係を育むための、エンカウンターや、よさを認め合う場の設定などを、意識して取り組んでいる。
- ・小中の系統をふまえた学習指導を心がけている。
- ・児童及び生徒による授業評価を適宜取り入れ、分かる授業を実践するための手立てとして活用している。
- ・教科と道徳の授業において、教材研究に努め、ねらいに迫るための活動や発問の工夫・改善を図っている。
- ・デジタル教科書と実物投影機を使った授業の展開について研修した。

4 平成24年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。《複数回答》

校長

研修教員



- ア 教科（学習）指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- サ 先輩教員等による授業
- ス その他

- イ 児童・生徒指導に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- コ 課題研究
- シ 管理職等の講話

○特に工夫した点【回答者：校長】

(主な記述内容)

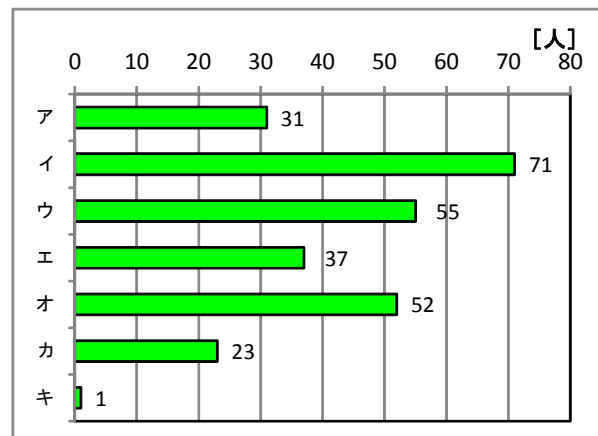
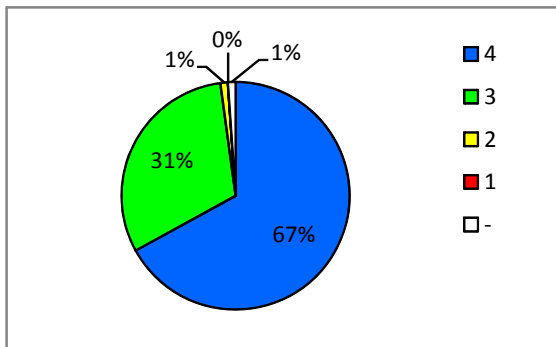
- ・ 栃中教研の部会研修会を兼ねて研究授業を実施し、専門的な話合いができるようにした。
- ・ 研修内容も本校児童生徒の実情に合わせてどう改善するかという視点で取り組むことにより、より実のある研修内容となった。
- ・ Q-Uテストの活用を図った学級づくりの研修、不祥事防止に関する研修を計画的に行った。
- ・ 校長自身も学ぶ姿を見せ、計画を安易に変更しないことを心がけた。

5-1 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。【回答者：研修教員】

4 かなり役立っている 3 ある程度役立っている 2 あまり役立っていない 1 役立っていない - 無回答

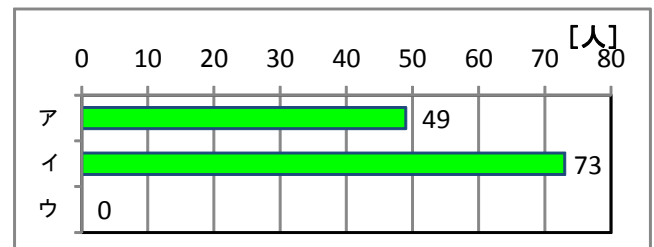
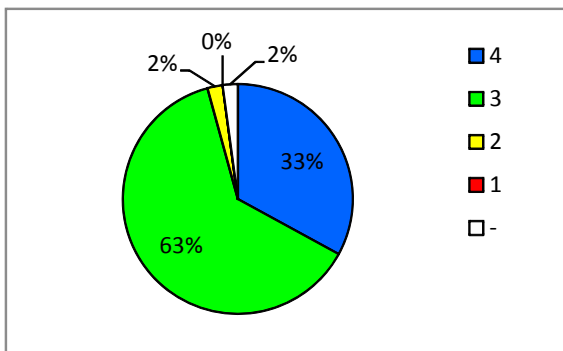
(1) 学習指導に関する研修

《複数回答》



- ア 講話「今、求められる学習指導の在り方」
- イ 教科別分科会
- ウ 公開授業A、授業研究会
- エ ビデオによる授業研究
- オ 課題研究
- カ 児童生徒等による授業評価
- キ その他

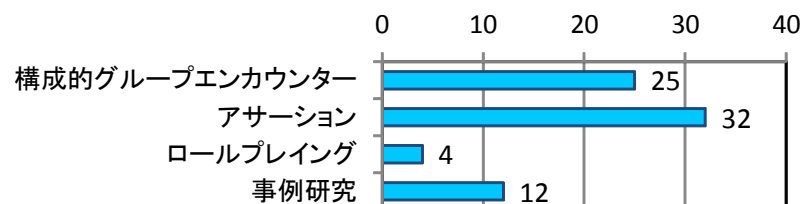
(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修



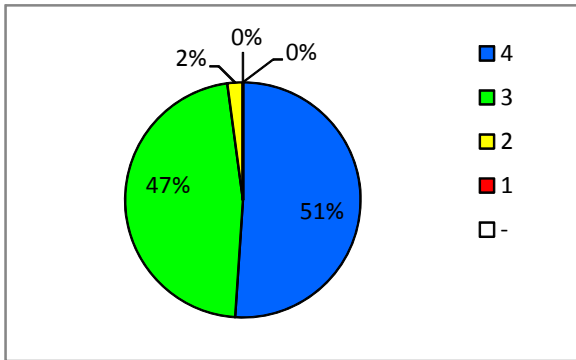
- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 児童・生徒指導に関する選択研修
- ウ その他

○イを選んだ研修教員が選択したコース

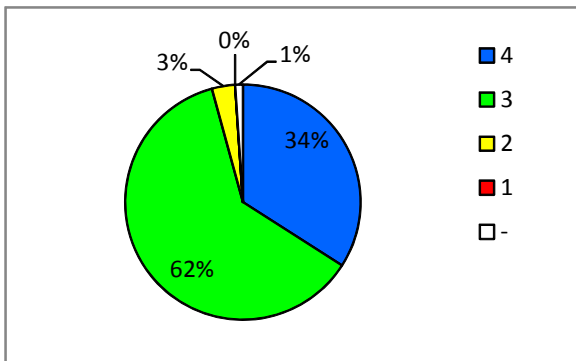
【人】



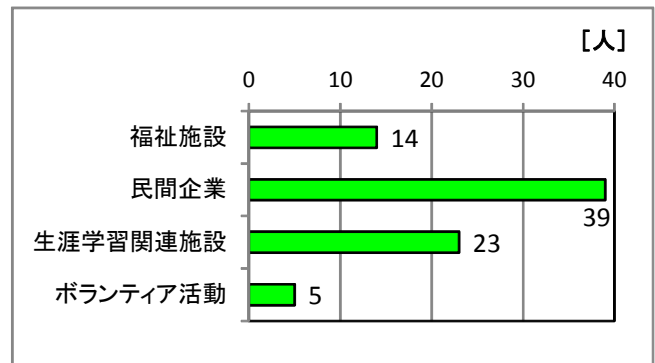
(3) 道徳教育に関する研修



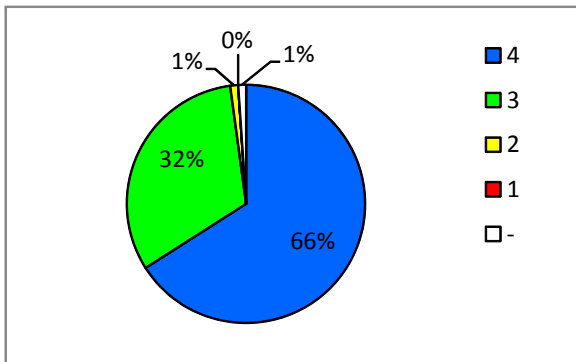
(4) 社会体験等研修



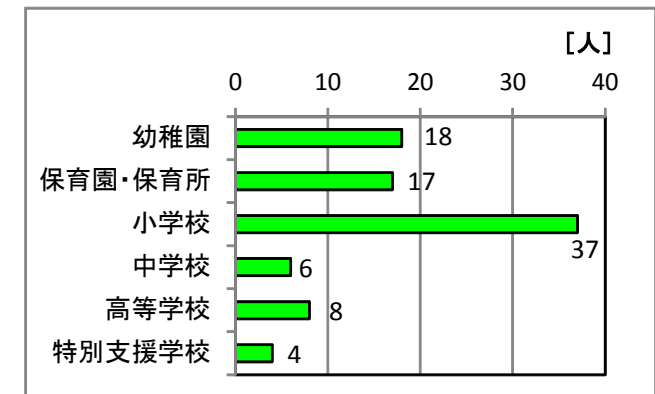
○研修場所



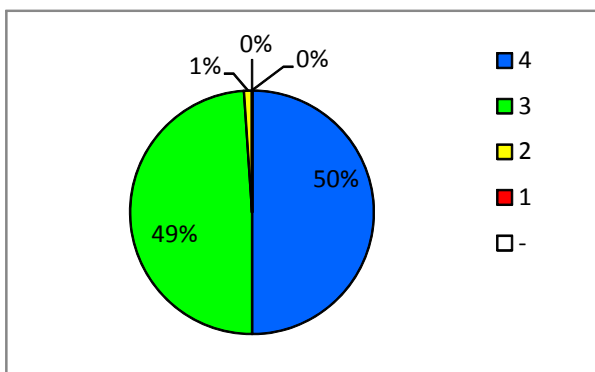
(5) 異校種体験研修



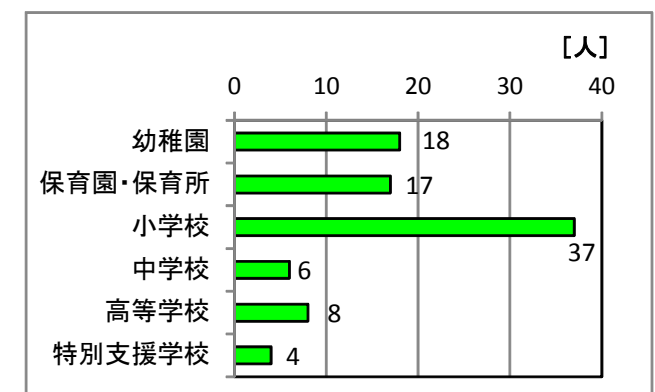
○研修場所



(6) 選択研修



○主催機関



5-2 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等（主な記述内容）

校長

- ・学校教育相談に関する研修（特にカウンセリングの演習）
- ・児童生徒の問題行動への対応とその保護者への対応、保護者との連携に関する研修
- ・国際理解教育、特に外国人児童生徒に対する教育についての研修（現代の教育課題の一つだと思う。）
- ・特別支援教育に関する研修（通常学級における特別支援教育のすすめ方、特別支援学校での3～4日の体験研修 など）
- ・部活動指導に関する研修（十分な知識・技能を有しない教員が指導にあたっているのが現状。顧問として自信をもって指導できるようにしたい。）
- ・生徒の自尊感情を高めるための研修
- ・危機管理に関する研修

研修教員

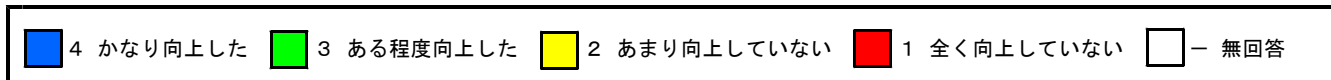
- ・様々な地区・校種の人と交流できる研修
- ・学級経営、学年経営などのマネジメント的な内容の研修
- ・思考力・判断力・表現力を高める授業づくりの研修（話し合い活動の充実）
- ・教科別分科会の拡充
- ・道徳の時間の指導案の作成法
- ・情報機器を活用した授業実践
- ・特別支援教育における構造化についての内容
- ・児童・生徒指導、学級経営に関する研修では、一つの選択ではなく、いろいろな方法を学べるように複数選択できるとよいと思う。

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート集計結果（H24受講者）

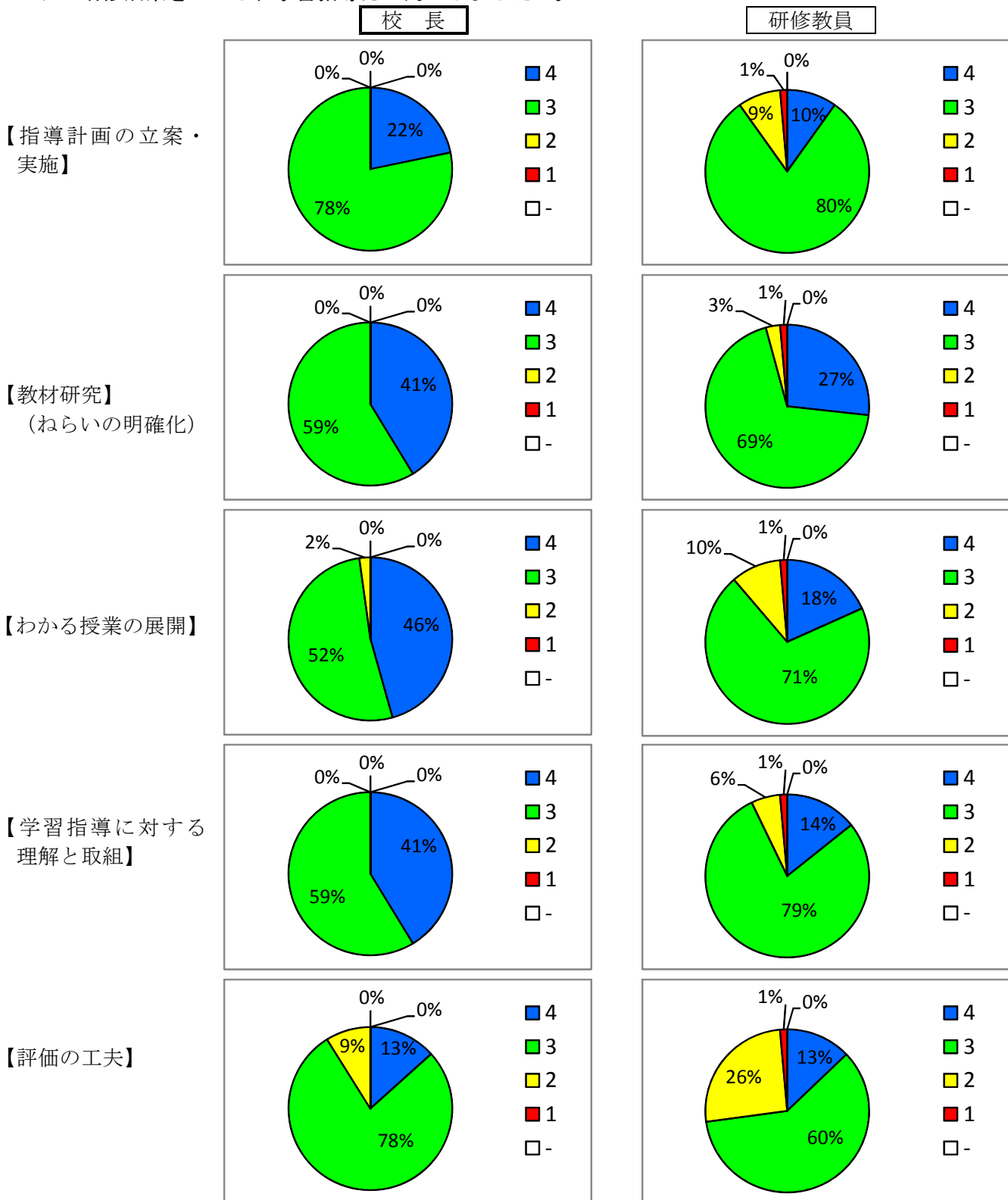
○ 回答総数 校長：46（高等学校 37 特別支援学校 9）
 研修教員：71（高等学校 52 特別支援学校 19）

1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、当てはまるものを選び番号を○で囲んでください。



ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。



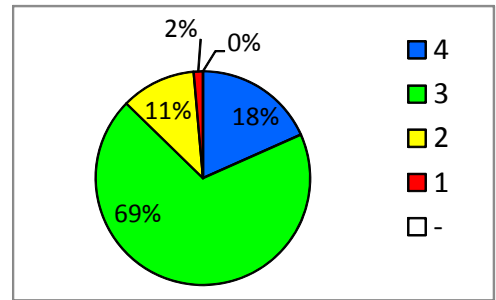
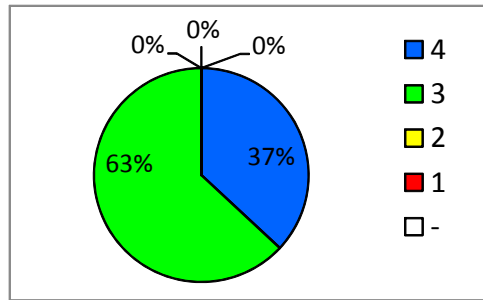
■ 4 かなり向上した
 ■ 3 ある程度向上した
 ■ 2 あまり向上していない
 ■ 1 全く向上していない
 - 無回答

イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。

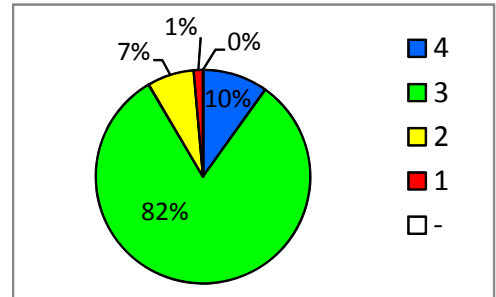
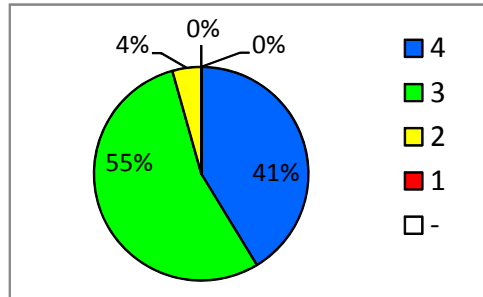
校長

研修教員

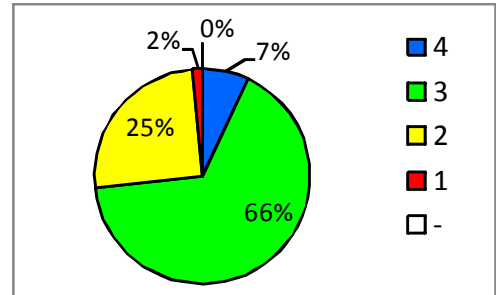
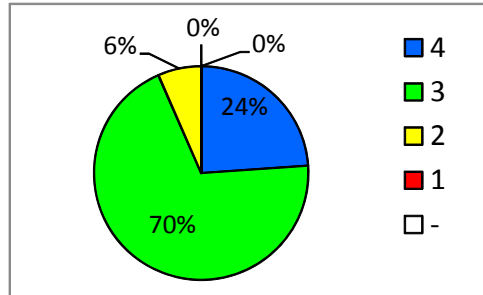
【信頼関係づくり・
教育相談】



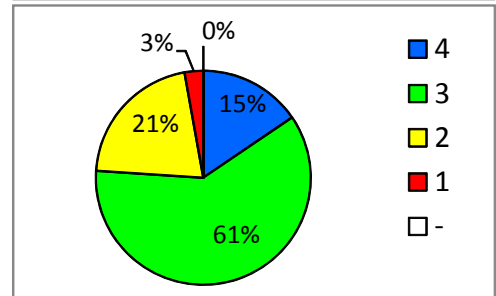
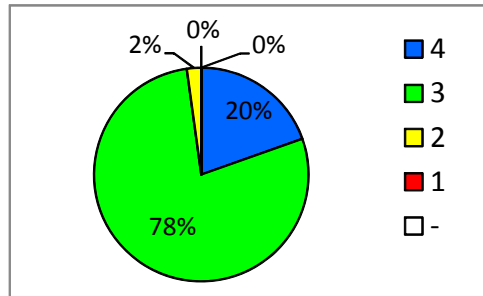
【児童・生徒指導への
取組】



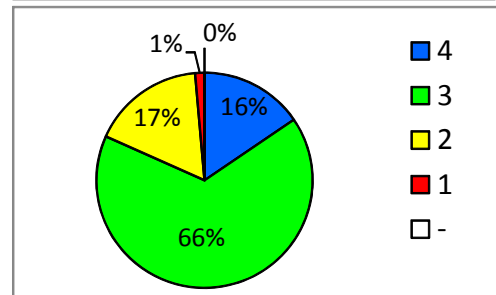
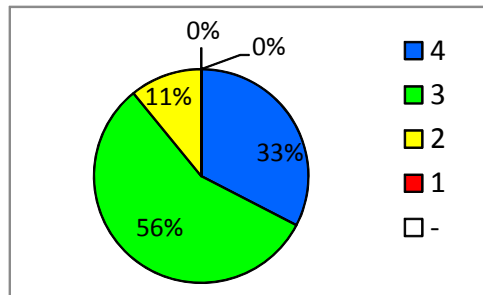
【問題行動等への対応】



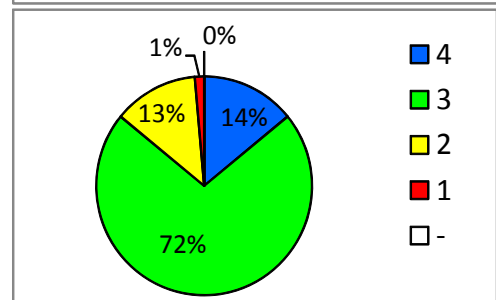
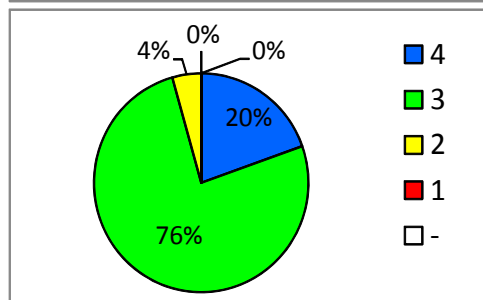
【特別活動、進路指導等
への取組】



【組織的対応】



【家庭・地域・関係諸
機関との連携】
(問題行動の予防・解決)



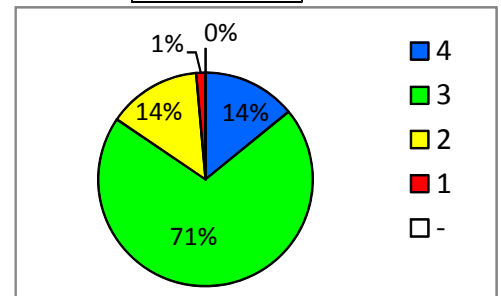
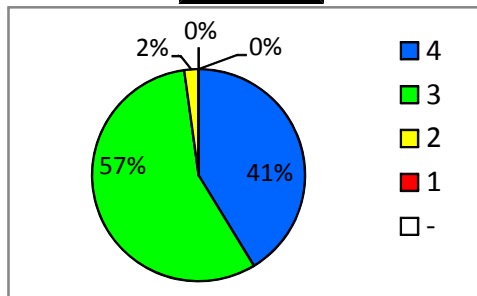
■ 4 かなり向上した
 ■ 3 ある程度向上した
 ■ 2 あまり向上していない
 ■ 1 全く向上していない
 - 無回答

ウ 研修成果を生かし、参画・経営力が向上しましたか。

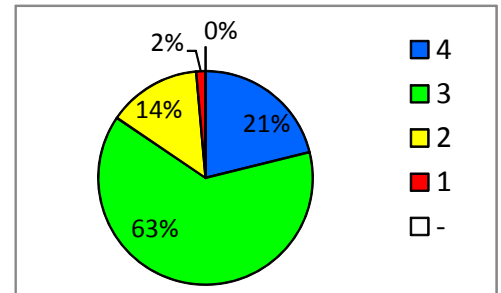
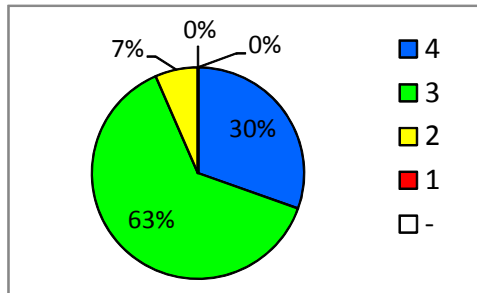
校長

研修教員

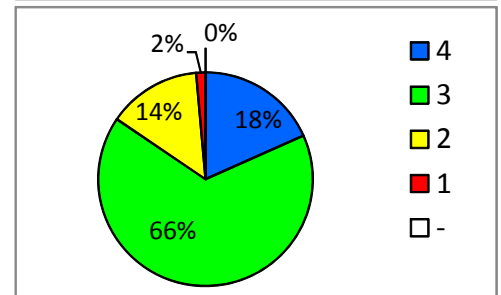
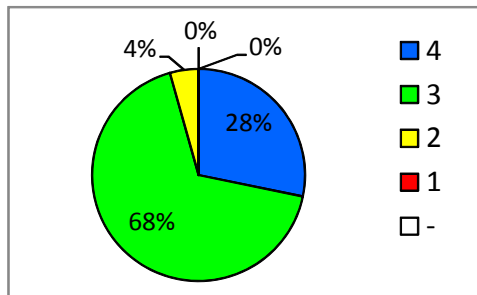
【校務分掌への取組】



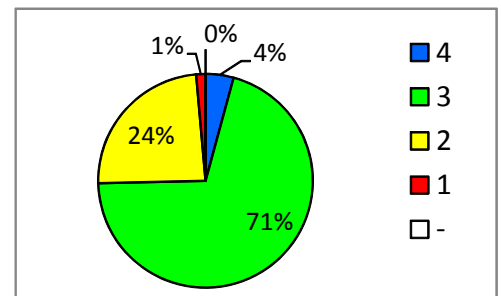
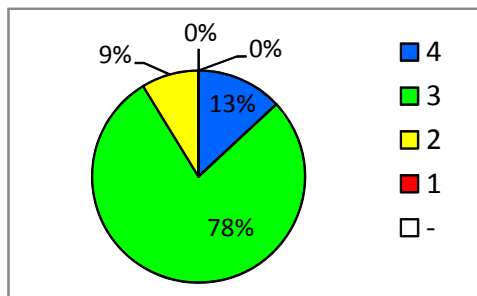
【報告・連絡・相談】



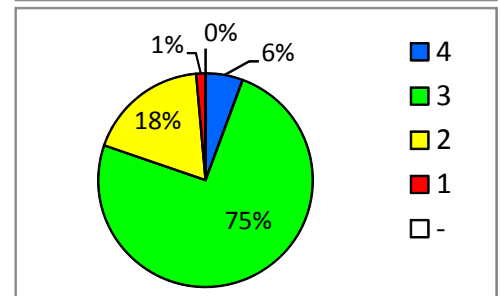
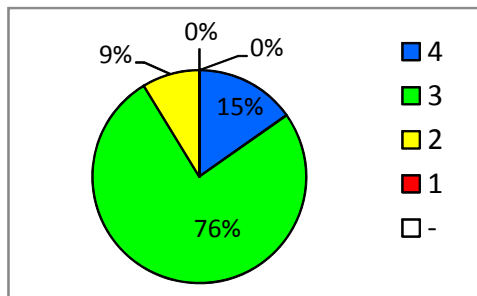
【学級・ホームルーム、
学年経営】



【学校経営への参画】



【家庭・地域・関係諸
機関との連携】
(校務処理)



(2) ア～ウの項目以外のことについて。(主な記述内容)

校長

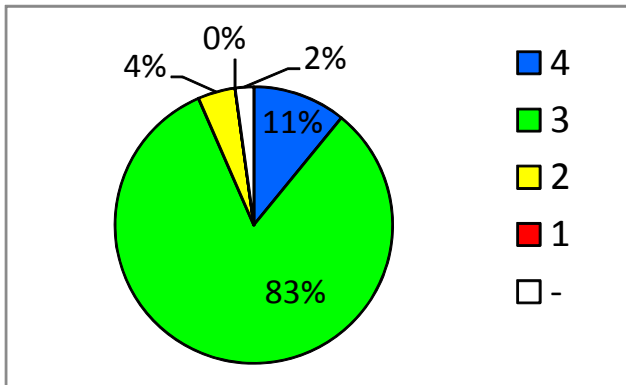
- ・研修を通して省察する機会を得て、心機一転できたようである。
- ・中堅教員としての自覚がさらに高まった。
- ・教科指導や資格取得に向けての指導などで、各科のリーダーとして活躍している。
- ・以前に比して、校務全般に意欲と自信をもって当たっている様子が見られ、特に生徒に対する指導力、授業力の向上ぶりがめざましい。
- ・学習指導部長を中心に、対象教員と話し合いを重ね、計画から研究授業、そして反省会まで様々な視点で細やかな指導を加えた。今、徐々に実を結びつつある。
- ・他の教職員や関係機関と連携を非常に密にしながら、学習指導、生徒指導、校務分掌に積極的に取り組んでいる。10年目研修の成果がうかがえる。

研修教員

- ・課題研究の成果を学習指導に活用するという点が最も役に立った。
- ・特に部活動の場面での生徒指導について、日々考えながら取り組んでいる。
- ・様々な角度から生徒の実態を把握し、指導に生かせるようになってきた。
- ・昨年の研修を生かし、より子どもの実態に合わせて授業などができるようになってきたと思う。

2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。

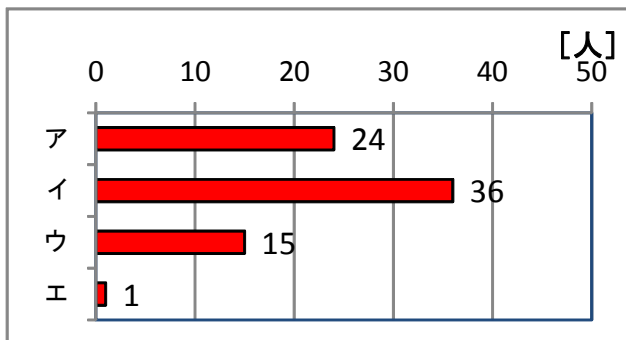
(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。【回答者：**校長**】



- 4 十分に活用した
- 3 ある程度活用した
- 2 あまり活用しなかった
- 1 全く活用しなかった
- 無回答

(2) 活用したことでどんな効果がありましたか。

【回答者：**校長**】 ((1)で4または3を選んだ方のみ回答。)《複数回答》



- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
- イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
- ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- エ その他

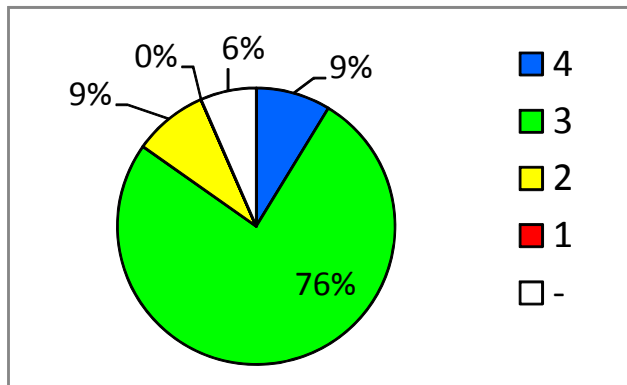
○効果をもとめるために特に工夫した点【回答者：**校長**】

(主な記述内容)

- ・学校の努力目標を踏まえ、10年目研修の成果と課題を生かした行動規準表の作成を促し、当初面談で確認した。
- ・クラス担任としての責任感や生徒への接し方、分かりやすい授業展開等に対するアドバイスをを行った。
- ・日常的に声をかけるなどコミュニケーションに努めることで、教科だけでなく校務分掌等でも更なる意欲の喚起になった。
- ・研修教員の向上した点を高く評価し、本人の意欲の持続を図った。

3-1 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

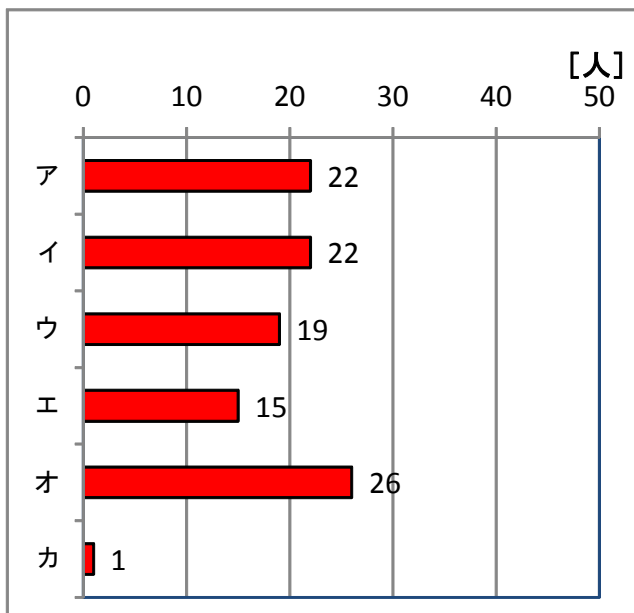
(1) 1～4のうちから当てはまるものを○で囲んでください。【回答者：校長】



- 4 かなりあった
- 3 ある程度あった
- 2 あまりなかった
- 1 全くなかった
- 無回答

(2) どんな効果や影響がありましたか。

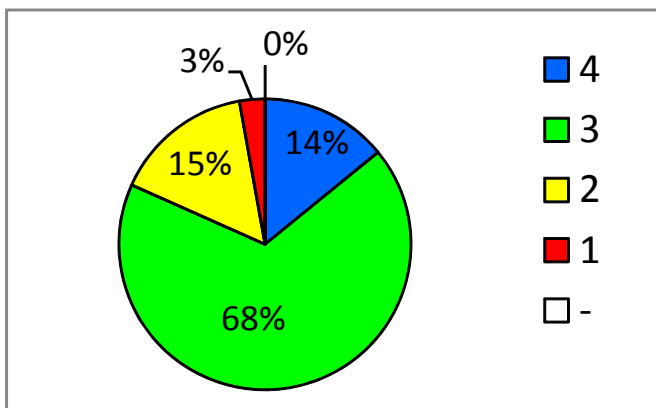
【回答者：校長】（(1)で4または3を選んだ方のみ回答。）《複数回答》



- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
- イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
- ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された。
- エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
- オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
- カ その他

3-2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。

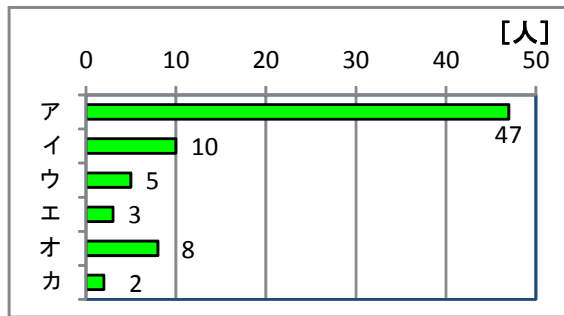
(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。【回答者：研修教員】



- 4 積極的に取り組んでいる
- 3 ある程度取り組んでいる
- 2 あまり取り組んでいない
- 1 全く取り組んでいない
- 無回答

(2) どのような研修に取り組んでいますか。

【回答者：研修教員】（(1)で4または3を選んだ方のみ回答。）《複数回答》



- ア 学習指導
- イ 児童・生徒指導
- ウ HR・学級経営
- エ 特別活動
- オ 特別支援教育
- カ その他

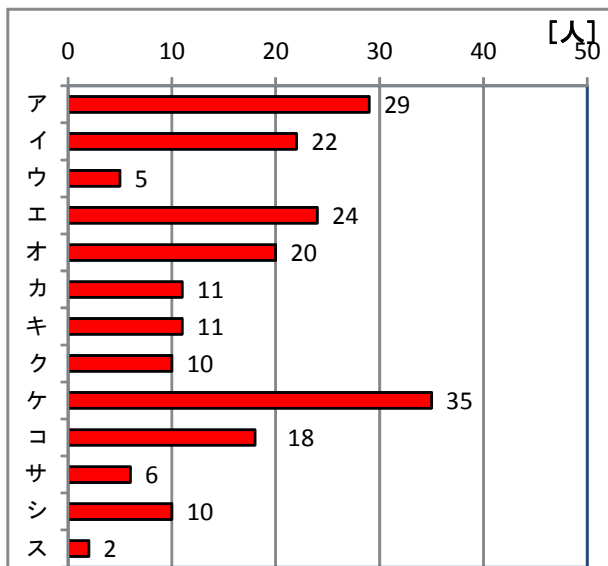
○具体的に、どのように進めていますか。【回答者：研修教員】

(主な記述内容)

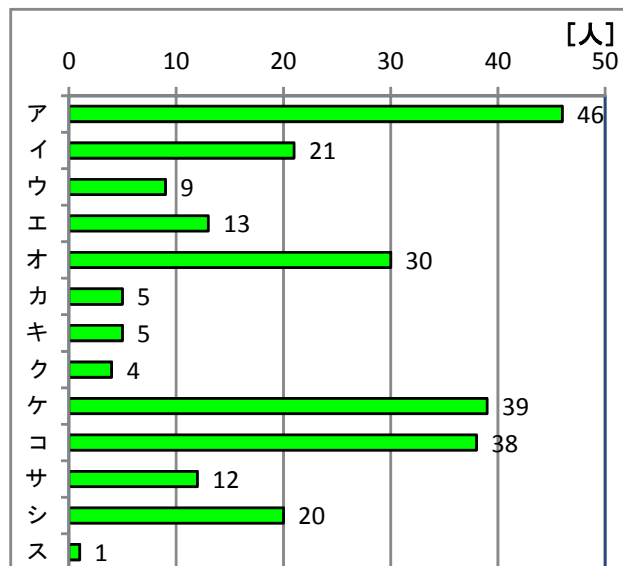
- ・評価規準の作成、評価方法の工夫について取組を行っている。定期考査以外に行える評価活動の工夫を行っている。
- ・研修で紹介のあった書籍や関連資料を収集し、まとめている。校内研究紀要などで発表したい。
- ・視覚教材の開発を継続し、見せる授業の展開を心がけている。
- ・総合教育センターなど、学校外の専門機関が開催する研修会等に参加し教材研究に役立っている。
- ・効果的なワークシートの作り方や発問の在り方、英語を使った活動の在り方について研究を続けている。
- ・生徒に学習アンケートを行い、本校生徒の実態を把握したうえで授業の改善を行っている。
- ・教材研究に力を入れ、生徒にとって分かりやすい授業の工夫や、生徒が主体的に学習に取り組み、達成感をもつことができるような授業の工夫を行っている。
- ・より一層、個に応じた学習支援が行えるように、院内の連携、職員間の共通理解などに取り組んでいる。
- ・課題研究で取り組んだことを継続して行っている。また、自立活動について、外部講師の助言を受けたり、教員同士で話し合いをもって指導計画を立てたりしている。

4 平成24年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。《複数回答》

校長



研修教員



- ア 教科（学習）指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- サ 先輩教員等による授業
- ス その他

- イ 児童・生徒指導に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- コ 課題研究
- シ 管理職等の講話

○特に工夫した点【回答者：校長】

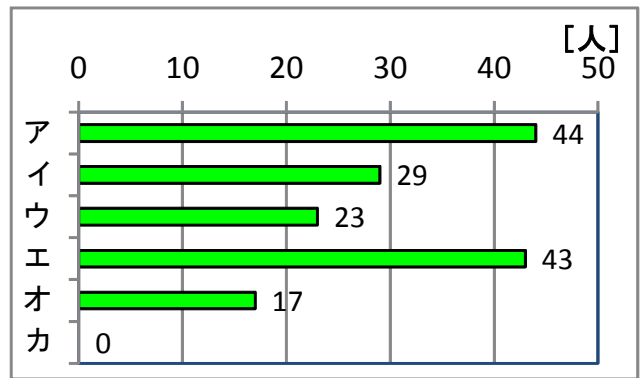
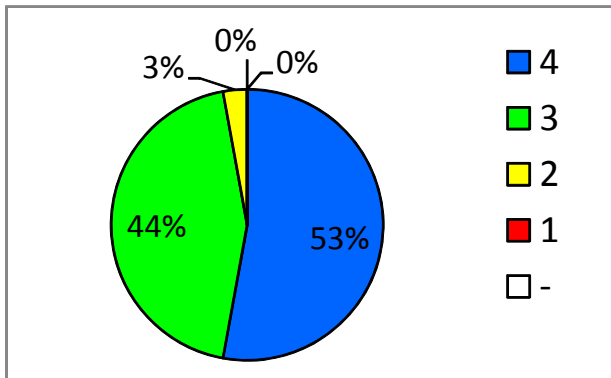
(主な記述内容)

- ・いじめや体罰などの喫緊の課題について、校内研修に取り入れている。
- ・外部講師による講話等は基本的に全員参加とし、公開授業は1人5回以上の参観を呼びかけ、意識の向上を図った。
- ・授業研究会の方法に工夫を加えた結果、活発な意見交換が行われるようになった。

5-1 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。【回答者：研修教員】

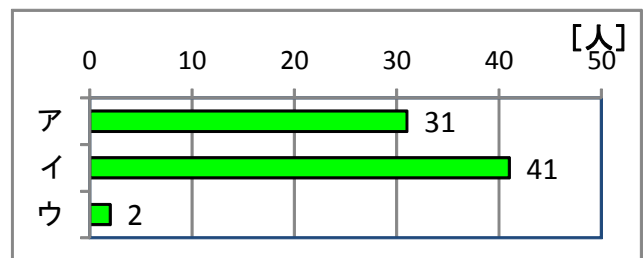
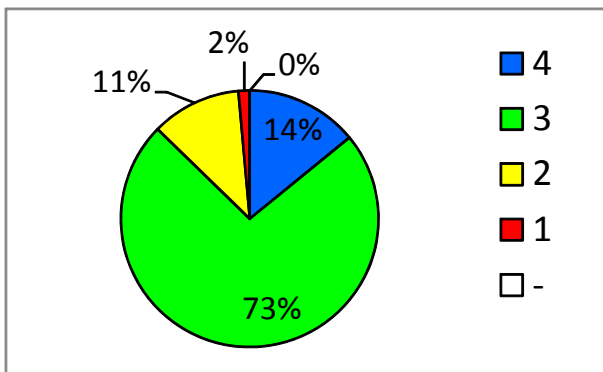
4 かなり役立っている 3 ある程度役立っている 2 あまり役立っていない 1 役立っていない - 無回答

(1) 学習指導に関する研修



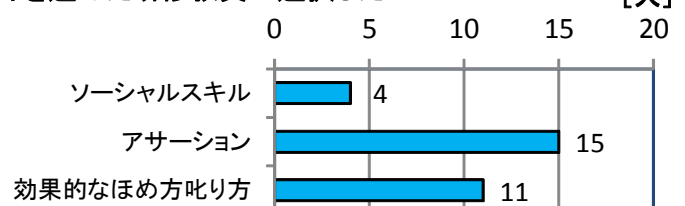
- ア 教科別分科会
- イ 公開授業A、授業研究会
- ウ ビデオによる授業研究
- エ 課題研究
- オ 児童・生徒等による授業評価
- カ その他

(2) 児童・生徒指導、ホームルーム経営に関する研修

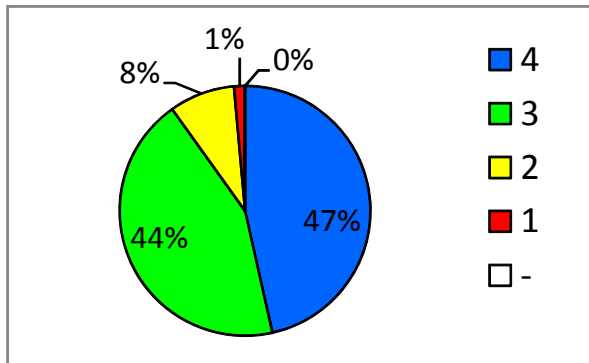


- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 児童・生徒指導に関する選択研修
- ウ その他

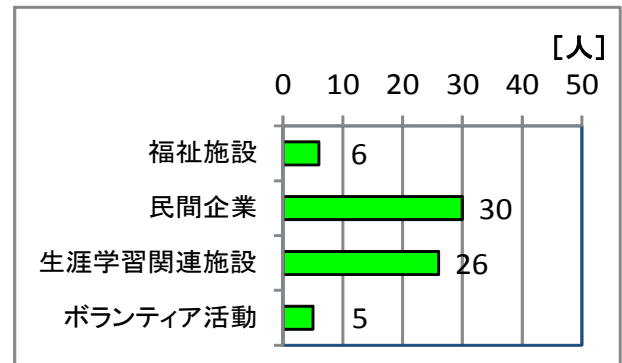
○イを選んだ研修教員が選択したコース



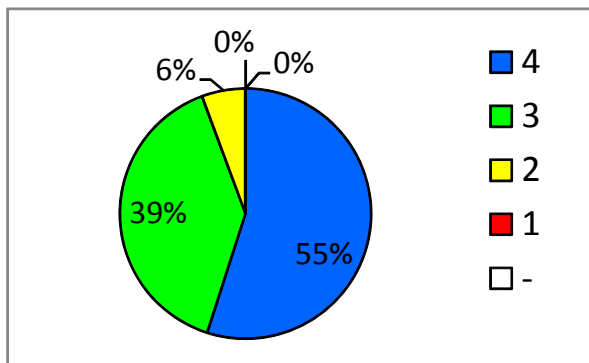
(3) 社会体験等研修



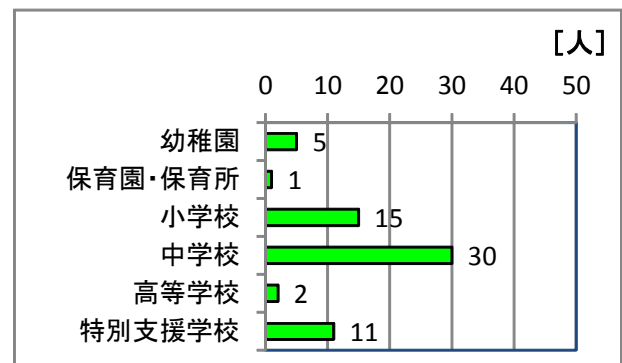
○研修場所



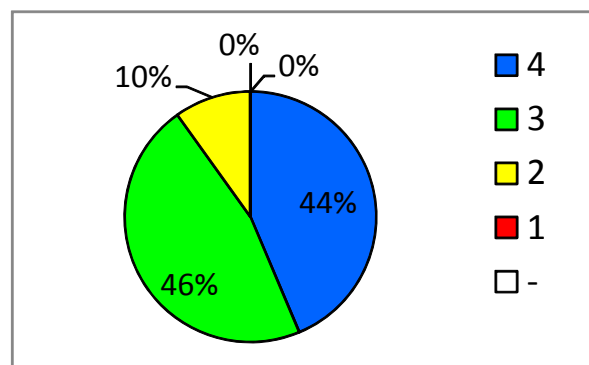
(4) 異校種体験研修



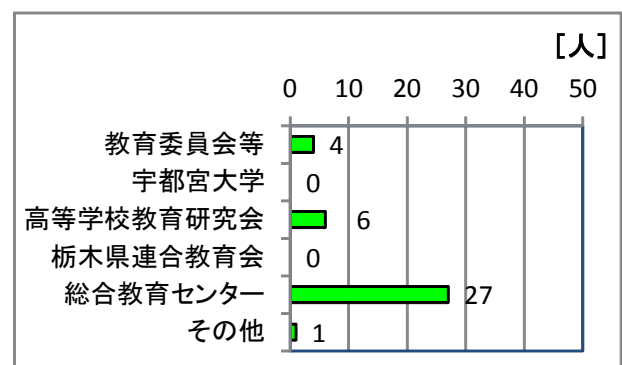
○研修場所



(5) 選択研修



○主催機関



5-2 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等（主な記述内容）

校長

- ・危機管理研修（①生徒の安全確保 ②職務上の危機管理 ③保護者対応 など）
- ・各教科指導におけるキャリア教育との連携の在り方
- ・ワークショップをとおして学校運営計画を作成するなど、学校運営・経営に関わる実践的な内容
- ・特別支援教育の現状と課題、保護者への対応
- ・センター職員を学校現場に講師として派遣する事業があるようなので、機会をみつけて活用したい。
- ・「授業をする」、「授業をみる」につきると思う。他教科も巻き込んだ研究授業をセンターと学校で企画していければ良いと思う。
- ・研修の意義は学んだことをどれだけ現場で生かせるかということであると思う。そのためにセンターにおける研修ではより現場の授業や職場状況に近い形で研修を受けられるようにしていただきたい。研修のためだけの学びになっていないか検討願いたい。

研修教員

- ・教育相談に関する研修
- ・生徒指導の事例研究などの研修
- ・各学校の現状に合った適切な進路指導の在り方
- ・キャリア教育についての実践事例や危機管理の在り方
- ・10年目における研究授業（代表者による）
- ・学力困難校や工業・商業などの高校での授業に役立つ内容
- ・メンタルヘルスに関わる講演会やカウンセリング研修
- ・様々な障害における実態把握の方法、発達検査、検査器具の活用についての研修
- ・自閉症、脳性まひ等、希望する障害別にコースに分かれて講話や教材研究をする研修
- ・特別支援教育として、高等学校とは別の児童生徒指導や進路についての研修
- ・障害のある子どもをもつ親へのメンタルヘルスに関する研修
- ・感覚統合や摂食障害に関する講話

終わりに、アンケートに御協力いただいた、関係各学校の校長先生並びに平成24年度研修教員の先生方、各教育事務所、各市町教育委員会に感謝申し上げます。

資料

教職10年目研修 (小学校、中学校) 事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。 (小学校 ・ 中学校)
- 平成25年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、それぞれ右の選択肢のうちから当てはまるものを選び、回答欄の番号を○で囲んで答えてください。

4	3	2	1
かなり 向上した	ある程度 向上した	あまり向上 していない	全く向上 していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・指導計画の立案・実施	(4 3 2 1)
	・ねらいの明確化、教材研究	(4 3 2 1)
	・わかる授業の展開	(4 3 2 1)
	・学習指導に対する理解と取組	(4 3 2 1)
	・評価の工夫	(4 3 2 1)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・信頼関係づくり・教育相談	(4 3 2 1)
	・児童・生徒指導への取組	(4 3 2 1)
	・問題行動等への対応	(4 3 2 1)
	・特別活動、進路指導等への取組	(4 3 2 1)
	・組織的対応	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携 (問題行動の予防・解決)	(4 3 2 1)
ウ 研修成果を生かし、参画・経営力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・校務分掌への取組	(4 3 2 1)
	・報告・連絡・相談	(4 3 2 1)
	・学級経営・学年経営	(4 3 2 1)
	・学校経営への参画	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携 (校務処理)	(4 3 2 1)

(2) ア～ウの項目以外のことについては、下の 内にお書きください。

- 2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。
（「平成24年度 教職10年目研修の手引」P.7参照）
(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。次の選択肢のうちから、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

4 十分に活用した 3 ある程度活用した 2 あまり活用しなかった 1 全く活用しなかった

- (2) (1)で4または3を選んだ方は、次のことにお答えください。
活用したことでどんな効果がありましたか。以下のア～エのうちから、当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、内にお書きください。
- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
 - イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
 - ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
 - エ その他 ()

- 3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。
(1) 次の選択肢のうちから当てはまるものの番号を○で囲んでください。

4 かなりあった 3 ある程度あった 2 あまりなかった 1 全くなかった

- (2) (1)で4または3を選んだ方は、次のことにお答えください。
どんな効果や影響がありましたか。以下のア～カの当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。
- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
 - イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
 - ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された。
 - エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
 - オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
 - カ その他 ()

- 4 平成24年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スのうちから、当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。なお、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 教科（学習）指導に関する研修 | イ 児童・生徒指導に関する研修 |
| ウ 学校経営に関する研修 | エ 教育相談に関する研修 |
| オ 進路指導に関する研修 | カ 情報機器の活用等に関する研修 |
| キ 特別支援教育に関する研修 | ク 人権教育に関する研修 |
| ケ 公開授業と授業研究会 | コ 課題研究 |
| サ 先輩教員等による授業 | シ 管理職等の講話 |
| ス その他 () | |

- 5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

※ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、市町教育委員会へご送付ください。

教職10年目研修 (小学校、中学校) 事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。 (小学校 ・ 中学校)
- 平成25年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、それぞれ右の選択肢のうちから当てはまるものを選び、回答欄の番号を○で囲んで答えてください。

4	3	2	1
かなり 向上した	ある程度 向上した	あまり向上 していない	全く向上 していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・指導計画の立案・実施	(4 3 2 1)
	・ねらいの明確化、教材研究	(4 3 2 1)
	・わかる授業の展開	(4 3 2 1)
	・学習指導に対する理解と取組	(4 3 2 1)
	・評価の工夫	(4 3 2 1)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・信頼関係づくり・教育相談	(4 3 2 1)
	・児童・生徒指導への取組	(4 3 2 1)
	・問題行動等への対応	(4 3 2 1)
	・特別活動、進路指導等への取組	(4 3 2 1)
	・組織的対応	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携 (問題行動の予防・解決)	(4 3 2 1)
ウ 研修成果を生かし、参画・経営力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・校務分掌への取組	(4 3 2 1)
	・報告・連絡・相談	(4 3 2 1)
	・学級経営・学年経営	(4 3 2 1)
	・学校経営への参画	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携 (校務処理)	(4 3 2 1)

(2) ア～ウの項目以外のことについては、下の 内にお書きください。

2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。
（「平成24年度 教職10年目研修の手引」P.7参照）

(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。次の選択肢のうちから、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

4 十分に活用した 3 ある程度活用した 2 あまり活用しなかった 1 全く活用しなかった

(2) (1)で4または3を選んだ方は、次のことにお答えください。

活用したことでどんな効果がありましたか。以下のア～エのうちから、当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、内にお書きください。

ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。

イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。

ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。

エ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) 次の選択肢のうちから当てはまるものの番号を○で囲んでください。

4 かなりあった 3 ある程度あった 2 あまりなかった 1 全くなかった

(2) (1)で4または3を選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下のア～カの当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。

ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。

イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。

ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された。

エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。

オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。

カ その他 ()

4 平成24年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スのうちから、当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。なお、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

ア 教科（学習）指導に関する研修

ウ 学校経営に関する研修

オ 進路指導に関する研修

キ 特別支援教育に関する研修

ケ 公開授業と授業研究会

サ 先輩教員等による授業

ス その他 ()

イ 児童・生徒指導に関する研修

エ 教育相談に関する研修

カ 情報機器の活用等に関する研修

ク 人権教育に関する研修

コ 課題研究

シ 管理職等の講話

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

※ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、総合教育センターへご送付ください。

3 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。(1)～(6)の項目について、それぞれ右の選択肢のうちから、当てはまるものを選び、回答欄の番号を○で囲んでください。
また、それぞれ、下の質問にも答えてください。

4	3	2	1
かなり役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	役立っていない

(1) 学習指導に関する研修

回答欄	(4 3 2 1)
-----	-------------

質問	特に役立ったものをすべて選び記号を○で囲んでください。				
	ア 講話「今、求められる学習指導の在り方」	イ 教科別分科会	ウ 公開授業A、授業研究会	エ ビデオによる授業研究	オ 課題研究
	カ 児童・生徒等による授業評価	キ その他 ()			

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修

回答欄	(4 3 2 1)
-----	-------------

質問	特に役立ったものをすべて選び記号を○で囲んでください。		
	ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」	イ 児童・生徒指導、学級経営に関する選択研修	ウ その他 ()
	<input type="checkbox"/> <u>イを選んだ方は、選択したコースの□にチェックを付けてください。</u>		
	<input type="checkbox"/> 構成的グループエンカウンター	<input type="checkbox"/> アサーショントレーニング	
	<input type="checkbox"/> ロールプレイング	<input type="checkbox"/> 事例研究	

(3) 道徳教育に関する研修

回答欄	(4 3 2 1)
-----	-------------

(4) 社会体験等研修

回答欄	(4 3 2 1)
-----	-------------

質問	研修場所の□にチェックを付けてください。			
	<input type="checkbox"/> 福祉施設	<input type="checkbox"/> 民間企業	<input type="checkbox"/> 生涯学習関連施設	<input type="checkbox"/> ボランティア活動
	<input type="checkbox"/> その他 ()			

(5) 異校種体験研修

回答欄	(4 3 2 1)
-----	-------------

質問	研修先校種の□にチェックを付けてください。			
	<input type="checkbox"/> 幼稚園	<input type="checkbox"/> 保育所・保育園	<input type="checkbox"/> 小学校	<input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校

(6) 選択研修

回答欄	(4 3 2 1)
-----	-------------

質問	主催機関等の□にチェックを付けてください。			
	<input type="checkbox"/> 教育委員会等	<input type="checkbox"/> 宇都宮大学	<input type="checkbox"/> 宇都宮大学教育学部附属小・中学校	
	<input type="checkbox"/> 小・中学校教育研究会	<input type="checkbox"/> 栃木県連合教育会	<input type="checkbox"/> 総合教育センター	<input type="checkbox"/> その他

4 平成24年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スのうちから、当てはまるものをすべて選び、記号を○で囲んで答えてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 教科(学習)指導に関する研修 | イ 児童・生徒指導に関する研修 |
| ウ 学校経営に関する研修 | エ 教育相談に関する研修 |
| オ 進路指導に関する研修 | カ 情報機器の活用等に関する研修 |
| キ 特別支援教育に関する研修 | ク 人権教育に関する研修 |
| ケ 公開授業と授業研究会 | コ 課題研究 |
| サ 先輩教員等による授業 | シ 管理職等の講話 |
| ス その他 () | |

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば [] 内にお書きください。

※ご協力ありがとうございました。11月8日(金)までに校長先生に提出してください。

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート

該当する校種を○で囲んでください。 (高等学校 ・ 特別支援学校)

平成25年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、それぞれ右の選択肢のうちから当てはまるものを選び、回答欄の番号を○で囲んで答えてください。

4	3	2	1
かなり 向上した	ある程度 向上した	あまり向上 していない	全く向上 していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・指導計画の立案・実施	(4 3 2 1)
	・ねらいの明確化、教材研究	(4 3 2 1)
	・わかる授業の展開	(4 3 2 1)
	・学習指導に対する理解と取組	(4 3 2 1)
	・評価の工夫	(4 3 2 1)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・信頼関係づくり・教育相談	(4 3 2 1)
	・児童・生徒指導への取組	(4 3 2 1)
	・問題行動等への対応	(4 3 2 1)
	・特別活動、進路指導等への取組	(4 3 2 1)
	・組織的対応	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携（問題行動の予防・解決）	(4 3 2 1)
ウ 研修成果を生かし、参画・経営力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・校務分掌への取組	(4 3 2 1)
	・報告・連絡・相談	(4 3 2 1)
	・学級経営・学年経営	(4 3 2 1)
	・学校経営への参画	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携（校務処理）	(4 3 2 1)

(2) ア～ウの項目以外のことについては、下の 内にお書きください。

2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。
（「平成24年度 教職10年目研修の手引」P.8参照）

(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。次の選択肢のうちから、当てはまるものの番号を○で囲んでください。

4 十分に活用した 3 ある程度活用した 2 あまり活用しなかった 1 全く活用しなかった

(2) (1)で4または3を選んだ方は、次のことにお答えください。

活用したことでどんな効果がありましたか。以下のア～エのうちから、当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、内にお書きください。

ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。

イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。

ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。

エ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) 次の選択肢のうちから当てはまるものの番号を○で囲んでください。

4 かなりあった 3 ある程度あった 2 あまりなかった 1 全くなかった

(2) (1)で4または3を選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下のア～カの当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。

ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。

イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。

ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された。

エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。

オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。

カ その他 ()

4 平成24年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スのうちから、当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。なお、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

ア 教科（学習）指導に関する研修

ウ 学校経営に関する研修

オ 進路指導に関する研修

キ 特別支援教育に関する研修

ケ 公開授業と授業研究会

サ 先輩教員等による授業

ス その他 ()

イ 児童・生徒指導に関する研修

エ 教育相談に関する研修

カ 情報機器の活用等に関する研修

ク 人権教育に関する研修

コ 課題研究

シ 管理職等の講話

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

※ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、総合教育センターへご送付ください。

教職10年目研修（高等学校、特別支援学校）事後アンケート

□ 該当する校種を○で囲んでください。（ 高等学校 ・ 特別支援学校 ）

□ 平成25年10月までの御自身の実践状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、それぞれ右の選択肢のうちから当てはまるものを選び、回答欄の番号を○で囲んで答えてください。

4	3	2	1
かなり 向上した	ある程度 向上した	あまり向上 していない	全く向上 していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・指導計画の立案・実施	(4 3 2 1)
	・ねらいの明確化、教材研究	(4 3 2 1)
	・わかる授業の展開	(4 3 2 1)
	・学習指導に対する理解と取組	(4 3 2 1)
	・評価の工夫	(4 3 2 1)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・信頼関係づくり・教育相談	(4 3 2 1)
	・児童・生徒指導への取組	(4 3 2 1)
	・問題行動等への対応	(4 3 2 1)
	・特別活動、進路指導等への取組	(4 3 2 1)
	・組織的対応	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携（問題行動の予防・解決）	(4 3 2 1)
ウ 研修成果を生かし、参画・経営力が向上しましたか。		回 答 欄
観 点	・校務分掌への取組	(4 3 2 1)
	・報告・連絡・相談	(4 3 2 1)
	・学級経営・学年経営	(4 3 2 1)
	・学校経営への参画	(4 3 2 1)
	・家庭・地域・関係諸機関との連携（校務処理）	(4 3 2 1)

(2) ア～ウの項目以外のことについては、下の □ 内にお書きください。

□

2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。

(1) 次の選択肢のうちから当てはまるものの番号を○で囲んでください。

4	3	2	1
積極的に 取り組んでいる	ある程度 取り組んでいる	あまり 取り組んでいない	全く 取り組んでいない

(2) (1)で4または3を選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな研修に取り組んでいますか。以下のア～カのうち、当てはまるものをすべて選び記号を○で囲んでください。また、どのように進めているのか □ 内に具体的にお書きください。

ア 学習指導 イ 児童・生徒指導 ウ HR・学級経営 エ 特別活動
オ 特別支援教育 カ その他 ()

□

3 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。(1)～(5)の項目について、それぞれ右の選択肢のうちから、当てはまるものを選び、回答欄の番号を○で囲んでください。
また、それぞれ、下の質問にも答えてください。

4	3	2	1
かなり 役立っている	ある程度 役立っている	あまり 役立っていない	役立って いない

	回答欄	(4 3 2 1)	
質問	特に役立ったものをすべて選び記号を○で囲んでください。 ア 教科別分科会 イ 公開授業A、授業研究会 ウ ビデオによる授業研究 エ 課題研究 オ 児童・生徒等による授業評価 カ その他 ()		

	回答欄	(4 3 2 1)	
質問	特に役立ったものをすべて選び記号を○で囲んでください。 ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」 イ 児童・生徒指導、HR・学級経営に関する選択研修 (イ を選んだ方は、選択したコースの□にチェックを付けてください。 <input type="checkbox"/> 生徒指導に役立つソーシャルスキルトレーニング <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力の向上 ～アサーショントレーニング～ <input type="checkbox"/> カウンセリングをいかした生徒指導の実際 ～効果的なほめ方、しかり方～) ウ その他 ()		

	回答欄	(4 3 2 1)	
質問	研修場所の□にチェックを付けてください。 <input type="checkbox"/> 福祉施設 <input type="checkbox"/> 民間企業 <input type="checkbox"/> 生涯学習関連施設 <input type="checkbox"/> ボランティア活動 <input type="checkbox"/> その他 ()		

	回答欄	(4 3 2 1)	
質問	研修先校種の□にチェックを付けてください。 <input type="checkbox"/> 幼稚園 <input type="checkbox"/> 保育所・保育園 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校		

	回答欄	(4 3 2 1)	
質問	主催機関等の□にチェックを付けてください。 <input type="checkbox"/> 教育委員会等 <input type="checkbox"/> 宇都宮大学 <input type="checkbox"/> 高等学校教育研究会 <input type="checkbox"/> 栃木県連合教育会 <input type="checkbox"/> 総合教育センター <input type="checkbox"/> その他		

4 平成24年度の校内等における研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スのうちから、当てはまるものをすべて選び、記号を○で囲んでください。

ア 教科(学習)指導に関する研修	イ 児童・生徒指導に関する研修
ウ 学校経営に関する研修	エ 教育相談に関する研修
オ 進路指導に関する研修	カ 情報機器の活用等に関する研修
キ 特別支援教育に関する研修	ク 人権教育に関する研修
ケ 公開授業と授業研究会	コ 課題研究
サ 先輩教員等による授業	シ 管理職等の講話
ス その他 ()	

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

※ご協力ありがとうございました。11月8日(金)までに校長先生に提出してください。